

3

八王子駅南口周辺地区まちづくり方針

3-1 まちの将来像と目標

まちの将来像 ☆・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・☆☆

個性的なにぎわいと良好な住環境が調和した 歩いて楽しい文化の香るまち

☆・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・☆☆

八王子駅を中心に、北口西側（西放射線ユーロード方面）は商業系施設、北口東側（東放射線アイロード方面）は業務系施設が集積するなど、北口では商業・業務系を中心としたにぎわいが形成されています。

一方、南口では文化を発信する新たなにぎわいと憩いの拠点であるオリンパスホール八王子を中心に、個性的な商店が展開されつつあり、その周辺には閑静な住宅地が広がるなど、北口とは趣の異なるまちなみとなっています。

南口周辺地区では、このような「個性的なにぎわい」と「文化」、「良好な住環境」という、従来のまちなみのよさを活かしたまちづくりに取り組み、歩いて楽しい、個性的なにぎわいと文化を感じるまちを目指します。

まちの目標

●にぎわい…<市の玄関口にふさわしい、人が主役のにぎわいづくり>

- ・良好な住環境と個性的な商店などによるにぎわいが共存し、地区住民にとって日常生活の利便性が高く、来訪者にとっても楽しめる空間を目指します。
- ・北口と南口の連携を強化することで、人々の様々なニーズに対応し、市の玄関口にふさわしいにぎわいの創出を目指します。

●医療刑務所用地等の活用…

<地域と一体となつたにぎわい・憩い・癒しの空間づくり>

- ・新たなまちの核として、子どもから高齢者まで多世代が集う、にぎわいのある交流拠点を目指します。
- ・地区の環境と調和し、憩いや癒しを感じられ、災害時には防災空間としての役割も果たす場所となることを目指します。

●回遊性…<安全で楽しく歩いて回れる空間づくり>

- ・ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、高齢者や障害者、子どもを含むすべての人が楽しく安心・安全に自分のペースで区内を回遊できる、快適な歩行空間ネットワークの形成を目指します。
- ・八王子駅南北の往来がしやすい、駅周辺が一体的ににぎわうまちを目指します。

● **住環境・うるおい(水と緑)… <住み心地のよいまちづくり>**

- ・ 地区内の公園や河川、水路などを、自然に親しめる歩行・散策空間として活かし、地区内の水と緑のネットワーク形成を目指します。
- ・ 民家の庭木や街路樹等の緑を増やす取り組みを進め、住環境の維持・向上に努めます。特に、南口周辺地区の南側では、閑静で景観の整った質の高い住宅地の形成を目指します。

● **まちの魅力を高めるソフトのまちづくり…**

<「南口独自のまちづくり」を協働で進めるための仕組みづくり>

- ・ まちの資源を有効活用し、広くPRすることで「他にはない、南口独自のまちづくり」を目指します。これらの取り組みを推進するために、地区住民・地元の事業者や事業者・市がまちづくりに対する共通認識を持ち、積極的に協働し進めるための仕組みや体制の構築を目指します。

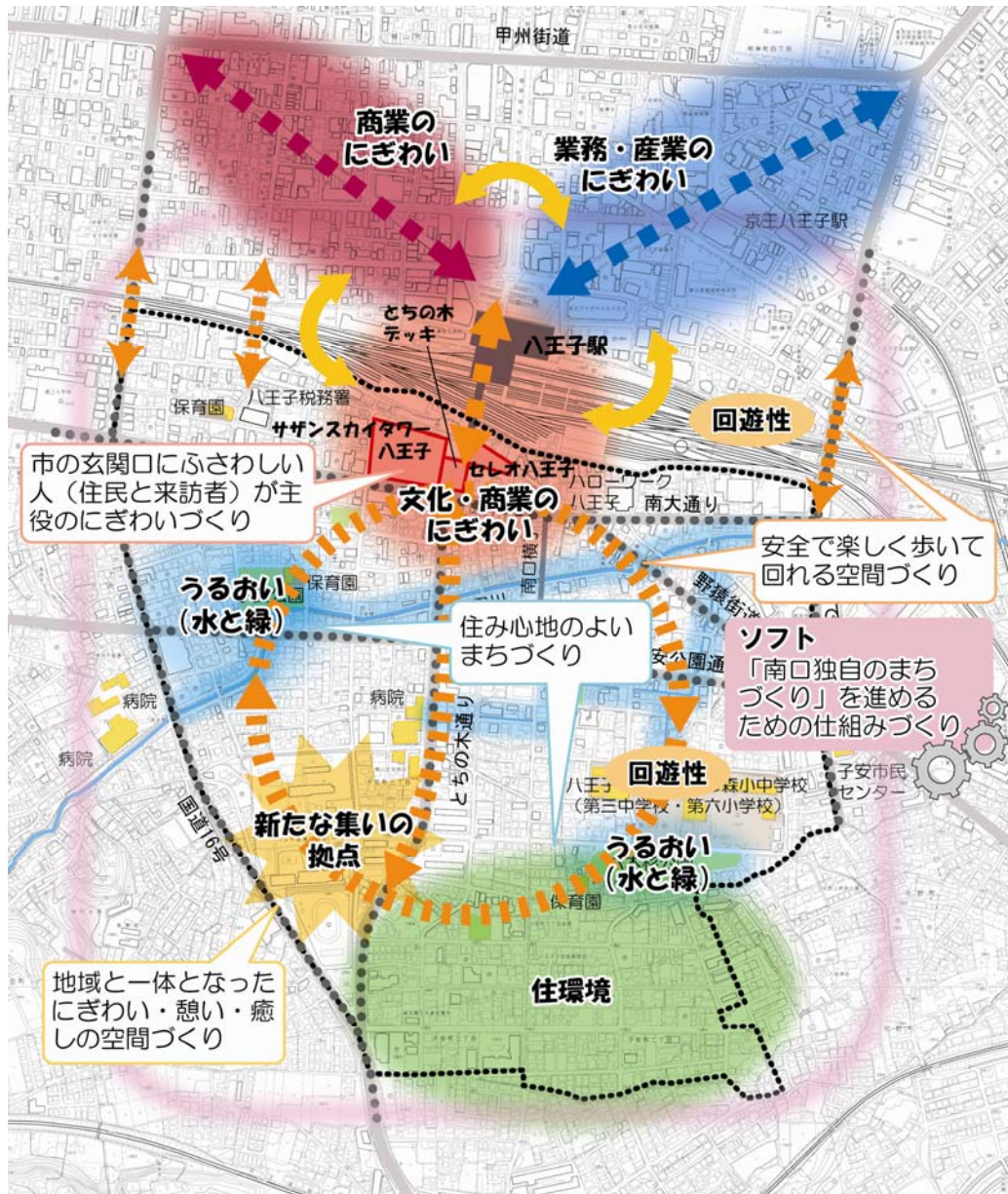


図 八王子駅南口周辺地区のまちの将来イメージ

3-2 まちづくりの展開の考え方

●まちづくりの展開の考え方

南口周辺地区のまちづくりを進めるにあたっては、八王子の顔としてのにぎわいを生み出す「駅前及び周辺エリア」、人々をこの地区に呼び込む新たな拠点となりうる「医療刑務所用地」を「まちづくりの核」、それらをつなぐ「とちの木通り」を「まちづくりの軸」と位置づけ、まちづくりに優先的に取り組むことで、まちの骨格を形成します。

周辺のエリアについては、「核」・「軸」での取り組みの効果を波及させるとともに、ソフト施策を中心とした市民との協働によるまちづくりを進めていきます。

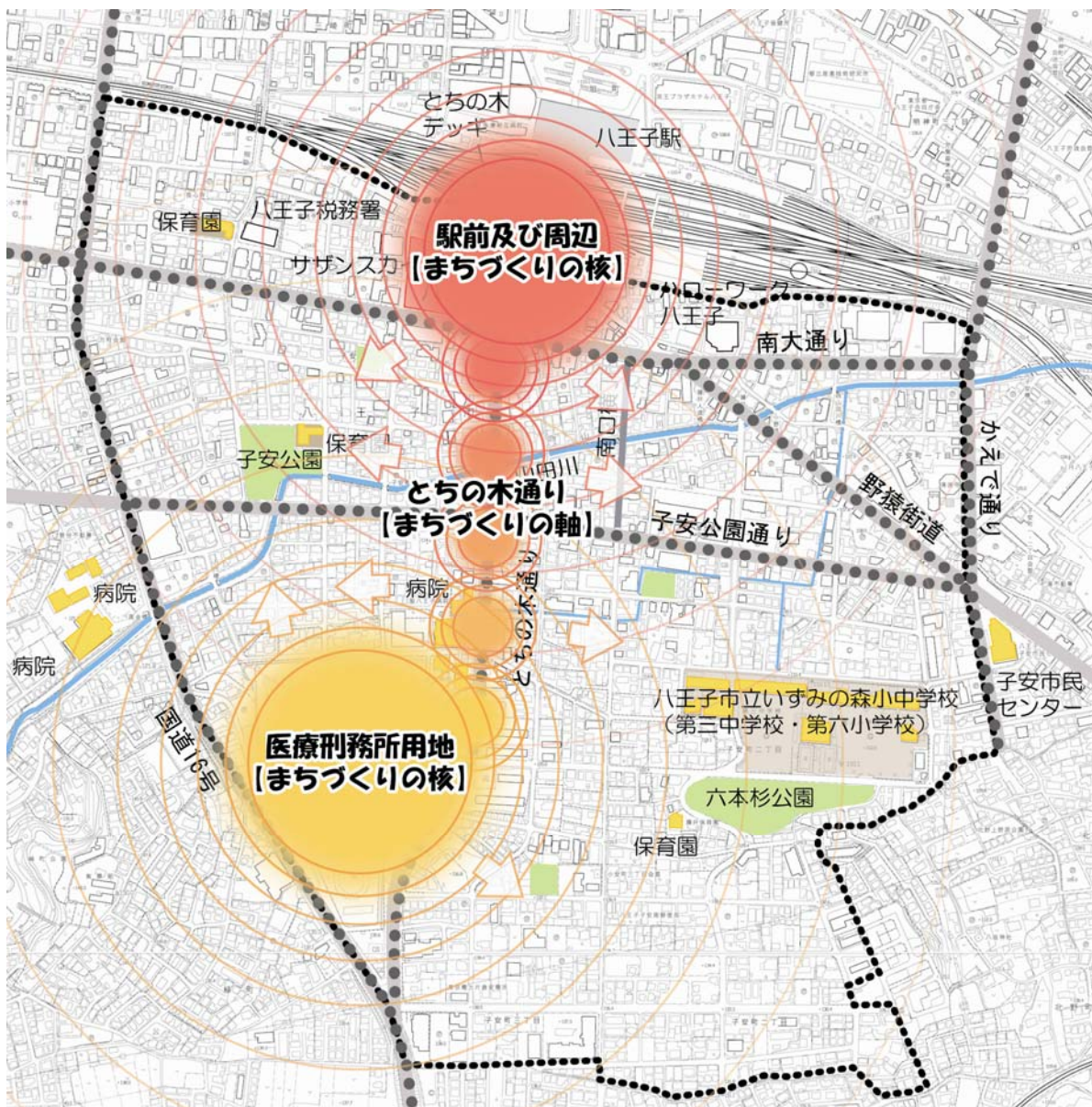


図 「核」と「軸」の形成によるまちづくりの展開イメージ

●ゾーニング・動線の設定

南口周辺地区内は、駅前の商業地から南側の住宅地にかけて、エリアごとに大きな特徴がみられます。まちづくり方針では、土地利用の状況や駅からの距離などのまちなみの特徴を踏まえ、地区内を5つのゾーンに分け、それぞれのまちづくりの将来イメージと、取り組みの方針を示します。

また、ゾーン分けを効果的に機能させるためには、住民や来訪者が移動する際の経路（動線）を効果的に設定し、ゾーンと併せて機能させることが必要となるため、地区内の主要な動線についても、将来イメージと取り組みの方針を示します。

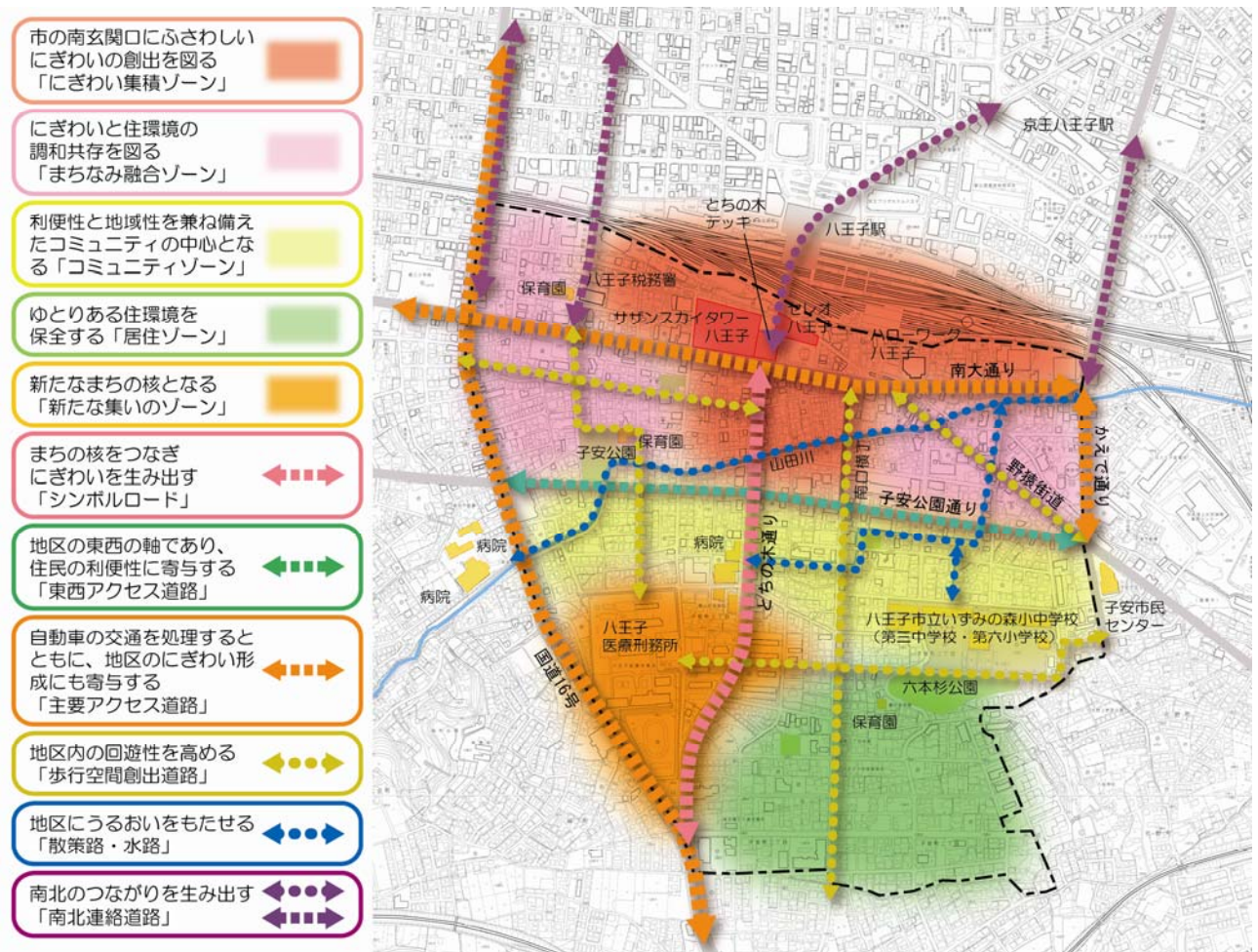


図 八王子駅南口周辺地区まちづくり方針のゾーニング・動線の設定